

製品名: IL2RA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81239**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	人間、マウス、サル、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	30.8kDa

抗原情報

遺伝子名	IL2RA
別名	CD25; IL2R; TCGFR; IDDM10
遺伝子 ID	3559.0
SwissProt ID	P01589
免疫原	大腸菌で発現したヒト IL2RA (AA: 34-139) の精製された組み換え断片。

背景

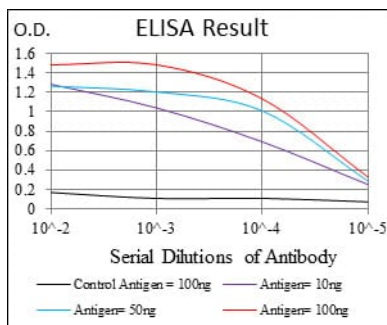
インターロイキン 2 (IL2) 受容体 α 鎖 (IL2RA) および β 鎖 (IL2RB) は、共通 γ 鎖 (IL2RG) と共に、高親和性 IL2 受容体を構成します。ホモ二量体 α 鎖 (IL2RA) は低親和性受容体を、ホモ二量体 β 鎖 (IL2RB) は中親和性受容体を形成します。通常は膜貫通タン

パク質である可溶性 IL2RA は単離されており、細胞外タンパク質分解によって生じることが確認されています。選択的スプライシングを受けた IL2RA mRNA も単離されていますが、それぞれの重要性は現在のところ不明です。この遺伝子の変異は、インターロイキン 2 受容体 α 欠損症と関連しています。

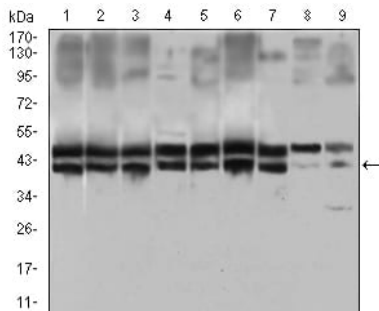
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Akt シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路

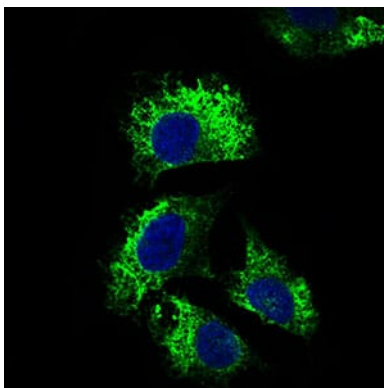
画像データ



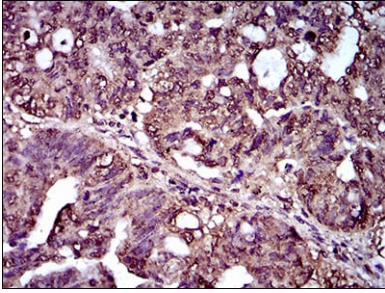
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



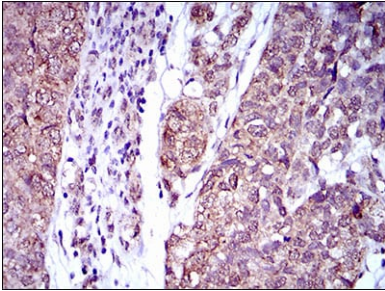
IL2RA マウス mAb を用いた HeLa (1)、MOLT4 (2)、HEK293 (3)、A549 (4)、Jurkat (5)、K562 (6)、Cos7 (7)、PC-12 (8)、NIH/3T3 (9) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



IL2RA マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



IL2RA マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。



IL2RA マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。